

岐阜工高で ヘリを展示

中学生が見学

笠松町常盤町の岐阜工業高校で、連携協定を結んでいる中日本航空専門学校(関市)から借り受けたヘリコプターが展示されている。

生徒らに興味、関心を深めてもらおうと期間限定で借り受けた。展示は今年28日まで。

機体は、米軍MDヘリコ



ヘリコプターを見学する生徒ら
＝笠松町常盤町、岐阜工業高校

プターズが開発、川崎重工がライセンス生産した「川崎ヒューズ369」。全長9.1メートル、全幅2.5メートルで、時

速240キロが出る。2日は同校で中学生の学校見学があり、ものづくりに関心を持つ中学生たちが珍しそうに機体を眺めていた。

同校では航空機械工学科の生徒たちも授業で教材として使い、構造などについて理解を深めている。同科教諭の鷲見暁国さん(47)は「航空産業は伸びしろのある分野。生徒や中学生にもっと関心を持ってもらうきっかけになれば」と望む。

(三輪真大)